

# 教育学部 共同教員養成課程 小中連携教育コース カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成を目的とします。

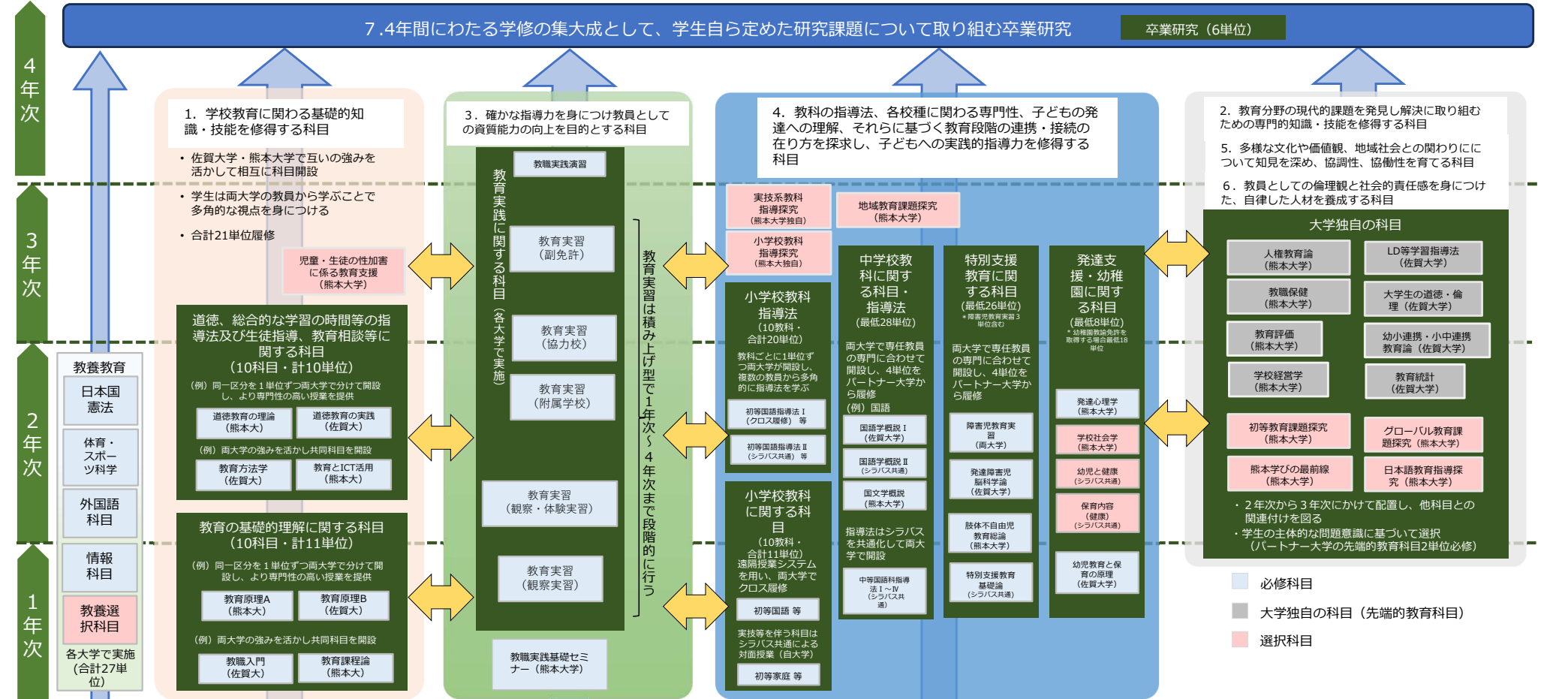
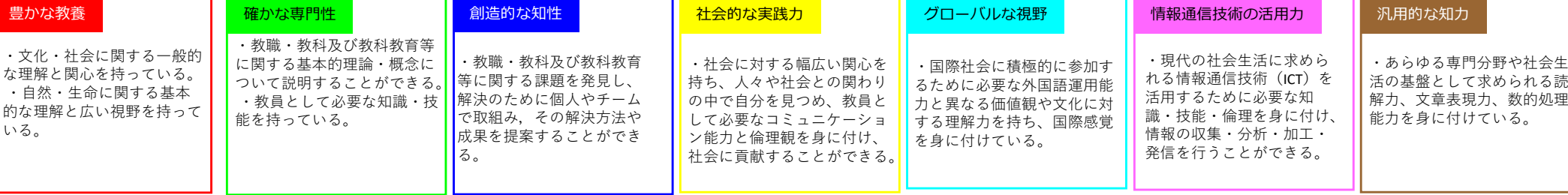
小中連携教育コースでは、教育学部の教育目的を踏まえ、小学校から中学校までの義務教育9年間における児童・生徒の心身の発達過程の特性に応じた教育の系統性を理解し、各教科の本質や意義、教育内容、学習指導方法について造詣を深め、実践的な指導技術を身につけた教員養成を行うことを教育目的とします。こうした本コースの教育目的に基づいて編成・実施する教育課程において所定の単位を修得し、教育学部の学修成果及び大学が定める学修成果を獲得した者には、学士（教育学）の学位を授与します。

## カリキュラムポリシー：

体系性：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：副専攻制度を実施し、小学校教育主専攻では教科を一つ選択し、学修するシステムを運用しています。副専攻で選んだ特定の教科について、さらに専門的知見を深めたり、視野を広げたりすることができます。中学校教育主専攻では、小学校教育主専攻を副専攻とします。



# 教育学部 共同教員養成課程 教育支援探究コース カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成を目的とします。

教育支援探究コースでは、教育学部の教育目的を踏まえ、現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題の解決を視野に入れつつ、幼児・児童・生徒の生活・発達・学習について、教育学や心理学、幼児教育、特別支援教育などの観点から専門的な知識や技能を学び、幼児期から青年期にかけての子どもたちの心身の発達や学びを支えるための教育能力をもった教員養成を行うことを教育目的とします。こうした本コースの教育目的に基づいて編成・実施する教育課程において所定の単位を修得し、教育学部の学修成果及び大学が定める学修成果を獲得した者には、学士（教育学）の学位を授与します。

## カリキュラムポリシー：

体系性：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：発達支援専攻では、教育学や心理学に関する専門科目を置き、教職など将来の進路に即した履修を保証するよう編成しています。なお、公認心理師受験資格プログラムがあります。特別支援教育専攻では、特別支援教育に関する科目を置き、将来の進路に即した履修を保証するよう編成しています。

### 豊かな教養

- ・文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。
- ・自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている。

### 確かな専門性

- ・教職・教科及び教科教育等に関する基本的理論・概念について説明することができる。
- ・教員として必要な知識・技能を持っている。

### 創造的な知性

- ・教職・教科及び教科教育等に関する課題を発見し、解決のために個人やチームで取り組み、その解決方法や成果を提案することができる。

### 社会的な実践力

- ・社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、教員として必要なコミュニケーション能力と倫理観を身に付け、社会に貢献することができる。

### グローバルな視野

- ・国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。

### 情報通信技術の活用力

- ・現代の社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付け、情報の収集・分析・加工・発信を行うことができる。

### 汎用的な知力

- ・あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能力を身に付けている。

7.4年間にわたる学修の集大成として、学生自ら定めた研究課題について取り組む卒業研究 卒業研究（6単位）

4年次

3年次

2年次

1年次

#### 1. 学校教育に関わる基礎的知識・技能を修得する科目

- ・佐賀大学・熊本大学で互いの強みを活かして相互に科目開設
- ・学生は両大学の教員から学ぶことで多角的な視点を身につける
- ・合計21単位履修

児童・生徒の性加害に係る教育支援（熊本大学）

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（10科目・計10単位）

- 道徳教育の理論（熊本大）
- 道徳教育の実践（佐賀大）
- 教育方法学（佐賀大）
- 教育とICT活用（熊本大）

教育の基礎的理解に関する科目（10科目・計11単位）

- 教育原理A（熊本大）
- 教育原理B（佐賀大）
- 教職入門（佐賀大）
- 教育課程論（熊本大）

#### 3. 確かな指導力を身につけ教員としての資質能力の向上を目的とする科目

- 教職実践演習
- 教育実践に関する科目（各大学で実施）
- 教育実習（副免許）
- 教育実習（協力校）
- 教育実習（附属学校）
- 教育実習（観察・体験実習）
- 教育実習（観察実習）
- 教職実践基礎セミナー（熊本大学）

教育実習は積み上げ型で1年次～4年次まで段階的に行う

#### 4. 教科の指導法、各校種に関わる専門性、子どもの発達への理解、それらに基づく教育段階の連携・接続の在り方を探求し、子どもへの実践的指導力を修得する科目

- 実技系教科指導探究（熊本大学独自）
- 地域教育課題探究（熊本大学）
- 小学校教科指導探究（熊本大独自）
- 小学校教科指導法（10教科・合計20単位）
- 教科ごとに1単位ずつ両大学が開設し、複数の教員から多角的に指導法を学ぶ
- 初等国語指導法Ⅰ（クロス履修）等
- 初等国語指導法Ⅱ（シラバス共通）等
- 小学校教科に関する科目（10教科・合計11単位）
- 遠隔授業システムを用い、両大学でクロス履修
- 初等国語等
- 実技等を伴う科目はシラバス共通による対面授業（自大学）
- 初等家庭等
- 中学校教科に関する科目・指導法（最低28単位）
- 両大学で専任教員の専門に合わせて開設し、4単位をパートナー大学から履修
- 国語概説Ⅰ（佐賀大学）
- 国語概説Ⅱ（シラバス共通）
- 国文学概説（熊本大学）
- 指導法はシラバスを共通化して両大学で開設
- 中等国語指導法Ⅰ～Ⅳ（シラバス共通）
- 特別支援教育に関する科目（最低26単位）
- 両大学で専任教員の専門に合わせて開設し、4単位をパートナー大学から履修
- 障害児教育実習（両大学）
- 発達障害児脳科学論（佐賀大学）
- 肢体不自由児教育総論（熊本大学）
- 特別支援教育基礎論（シラバス共通）
- 発達支援・幼稚園に関する科目（最低8単位）
- 発達心理学（熊本大学）
- 学校社会学（熊本大学）
- 幼児と健康（シラバス共通）
- 保育内容（健康）（シラバス共通）
- 幼児教育と保育の原理（佐賀大学）

#### 2. 教育分野の現代的課題を発見し解決に取り組むための専門的知識・技能を修得する科目

5. 多様な文化や価値観、地域社会との関わりについて知見を深め、協調性、協働性を育てる科目

6. 教員としての倫理観と社会的責任感を身につけた、自律した人材を養成する科目

- 大学独自の科目
- 人権教育論（熊本大学）
  - LD等学習指導法（佐賀大学）
  - 教職保健（熊本大学）
  - 大学生の道徳・倫理（佐賀大学）
  - 教育評価（熊本大学）
  - 幼小連携・小中連携教育論（佐賀大学）
  - 学校経営学（熊本大学）
  - 教育統計（佐賀大学）
  - 初等教育課題探究（熊本大学）
  - グローバル教育課題探究（熊本大学）
  - 熊本学びの最前線（熊本大学）
  - 日本語教育指導探究（熊本大学）

- ・2年次から3年次にかけて配置し、他科目との関連付けを図る
- ・学生の主体的な問題意識に基づいて選択（パートナー大学の先端的教育科目2単位必修）

- 必修科目
- 大学独自の科目（先端的教育科目）
- 選択科目

- 教養教育
- 日本国憲法
- 体育・スポーツ科学
- 外国語科目
- 情報科目
- 教養選択科目
- 各大学で実施（合計27単位）

# 教育学部 養護教諭養成課程 養護教育コース カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成を目的とします。養護教諭養成課程では、広い視野、深い教養と思いやりの心をもった豊かな人間性を基盤とした養護教諭を養成します。そのために、健康相談活動を含む健康管理、健康教育に必要な知識・技術を修得する養護専門科目及び発展途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、教育方法等の理論と技術を修得する教職専門科目を学びます。これにより養護教諭養成課程では、子どもと教育に対する幅広い関心を持ち、論理的思考力を身に付けた高度の教育実践力、子どもの心身の健康課題への対応力を備えた養護教諭の養成を目標としています。このことを踏まえ、教育学部の学修成果及び以下に示す大学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に、学士（教育学）の学位を授与します。

1. 発達途上にある子どもたちの体と心の問題に対して、専門的な立場から理解し、実践的に対応・指導できる。
2. 健康管理、健康教育、健康相談活動に関する専門的知識を身に付け、課題を分析し、解決するために活用できる。
3. 子どもたちの体と心の諸問題を広い視野で多面的に捉え問題を解決することができる。
4. 学校内外の人たちと、協働しながら解決していくためのコミュニケーションができる。

カリキュラムポリシー：

1. 養護教諭に求められる資質能力を高めるために、必要な知識・技術を学ぶ専門科目、及び発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、教育方法等の理論と技術を修得する教職専門科目等から総合的に学修することができる。
2. 保健管理、保健教育、健康相談活動、保健室経営、保健組織活動に当たる養護教諭に必要な専門的内容について体系的、段階的、個別的にバランスよく学修することができる。

## 豊かな教養

・健康管理・健康教育の推進に必要な人文科学・社会科学、自然科学・生命科学に対する一般的な知識と理解を持っている。  
・健康管理・健康教育に必要な知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

## 確かな専門性

・子どもの心身の健康課題に取り組むための健康管理・健康教育に関連した、幅広い看護、医学、公衆衛生、保健、健康相談等の基本的知識と技術を身に付けている。  
・保健科教員としての力量を有し、学校現場において児童生徒の心身の健康教育を行う中心的役割を果たす能力を備えている。  
・養護学の前提・基礎となる基本知識・技能を身に付けている。等

## 創造的な知性

・文献の読解力を身に付け、その要点をつかめる。  
・分析結果に基づいた論理的考察、概念化能力を身に付けている。  
・情報収集・分析方法を学習し、研究課題設定・解決能力を身に付けることができる。  
・発表・討議により考えを深めることができる。

## 社会的な実践力

・研究グループの中で討論し、分かりやすい発表を行うことができる。  
・グループ内討議・発表を行うことができる。  
・児童生徒への対応能力を身に付けている。  
・衛生・公衆衛生教育を通し、市民性・公共心、社会参加意欲を身に付けている。等

## グローバルな視野

・英語の文献を読解し、研究に活用するとともに英語の活用能力を高め、国際的な健康に関する課題、価値観や文化を理解し、国際的な視野の中で考察する力を身に付けている。

## 情報通信技術の活用力

・研究の分析結果及び発表のプレゼンテーション作成を通じて、社会生活に求められる情報通信技術を十分に活用することができる。そのために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。

## 汎用的な知力

・卒業研究をまとめ論文化していく過程において、文章表現の技能や数的処理能力を身に付けている。  
・国内海外問わず様々な文献を精読することができる。  
・調査研究等において、高度なデータの集計や処理の方法について理解している。等

